

# ミッドワイフトーク

## 助産師だより

ホーム  
ページ版  
Vol.6

平成28年3月 第17号  
公益社団法人栃木県看護協会  
宇都宮市駒生町 3337-1 とちぎ健康の森4F  
TEL 028-625-6141  
発行責任者 河野順子

### ごあいさつ

助産師職能委員長 寒河江 かよ子

会員の皆様には、ますますご健勝の事と心からお慶び申し上げます。  
日頃のご協力を深く感謝しております。

栃木県看護協会助産師職能委員会の活動として、新人助産師研修会の開催、助産師の実践能力向上として、日本看護協会が推進する助産師のラダーの推進、地域住民への貢献としてヒューマンフェスタイベントへの参加や、「うまれる」映画上映など積極的に活動しています。

日本看護協会は平成25年度1都14県で「助産師出向支援事業」に取り組み、栃木県看護協会も実施しました。平成26年8名の助産師が出向にでることができ、出向した助産師は5か月で約50例の分娩介助を経験でき、助産師のラダーⅢ申請が可能になりました。平成27年度にアドバンス助産師151名が誕生されました。助産師出向システムが定着し、助産師実践能力向上につながる事を期待しております。

### 助産師の活動



#### 看護大会

H27.5.9

たくさんの方が参加して下さいました。





### 助産実践能力強化支援事業

H27.10.25

院内助産システムの推進に向けた  
取り組み、助産師の育成研修



### ヒューマンフェスタ

H27.11.14

「人権・やさしさ・命の大切さ」をテーマに  
開催されました。

小さいお子さんを連れた家族が多く来場  
され、産声と胎児心音に耳を傾けたり、  
妊婦疑似体験をしました。



### 妊娠糖尿病の基礎理解

H27.12.19

福井トシ子先生

たくさんの方が参加して下さいました。



### 新人助産師、施設代表者交流会

H28.1.27

県内の産科施設代表者、新人助産師が集  
まり交流会を行いました。



## 施設紹介

「愛」を持って女性のための病棟作りを目指しています！！

社会医療法人 博愛会  
首間記念病院 「産科・女性診療科」

那須塩原市(旧黒磯市)に昨年4月より「産科・女性診療科」が新設されました。当院の最上階に開設された産婦人科は、晴れた日などは那須連山の麓にある那須ハイランドパークの観覧車までよく見えるとても景色のいいところですよ。

思えば今年の頃は新設準備と、新棟への引っ越しの準備とで大忙しの日々でした。この1年ジェットコースターに乗っているような「あっ！」という間の1年でした。もともと産婦人科がなかった病院だったため、産婦人科経験があるスタッフばかりではなく、勉強会や他病院への研修などをくり返し今に至っています。今年に入り分娩の件数も増えてきて病棟に赤ちゃんの声が響くようになってきました。

まだまだ発展途上な私たちですが、同じ女性として患者様と共に喜び、悲しみ、感動を共有しながら成長していきたいと思っています。





母児共に安心して過ごせる施設として♡♡♡

まざあずへいぶん 佐藤助産院 佐藤美佐子

産後、里帰りできずに一人で頑張っている方々の力になりたい、母乳育児の支援がしたいと思い、平成19年2月にお母様と赤ちゃんが安心して過ごせる産後入院施設として、「まざあずへいぶん 佐藤助産院」を開業致しました。へいぶんとは安息所のことです。

産後、当助産院で自宅や実家にいる様な雰囲気の中で数日過ごす事により、産後の疲れを癒し、少しずつ育児に慣れてくるお母様を見ると、やはりこのような施設は地域に必要であると実感しています。また、助産師が母児と密接に関われるので、家族を含めてのより質の高い援助ができると感じています。

一時期、分娩も取扱っていましたが、やはり、ゆったりと過ごせる産後の施設として活動していきたいと考え、現在分娩の取扱いは行っておりません。お母様方の友達の輪を広げる場、育児を楽しんでもらい赤ちゃんの発達を促す場としてマタニティーヨーガ、アフターヨーガ、ベビーヨーガ、リトミック、ベビーマッサージなどのサークル活動も行っています。

今後も少しでも産後の生活を楽しく過ごせるように援助できたらと思っています。

